

平成25年3月21日

## 函館線五稜郭・渡島大野間電化工事起工式の開催について

JR北海道では、函館線五稜郭・渡島大野間電化工事の起工式を執り行うこととなりましたのでお知らせします。

1. 日 時 平成25年4月20日(土) 11時から

2. 場 所 JR函館線七飯駅付近

3. 主催者 北海道旅客鉄道株式会社

4. 式次第

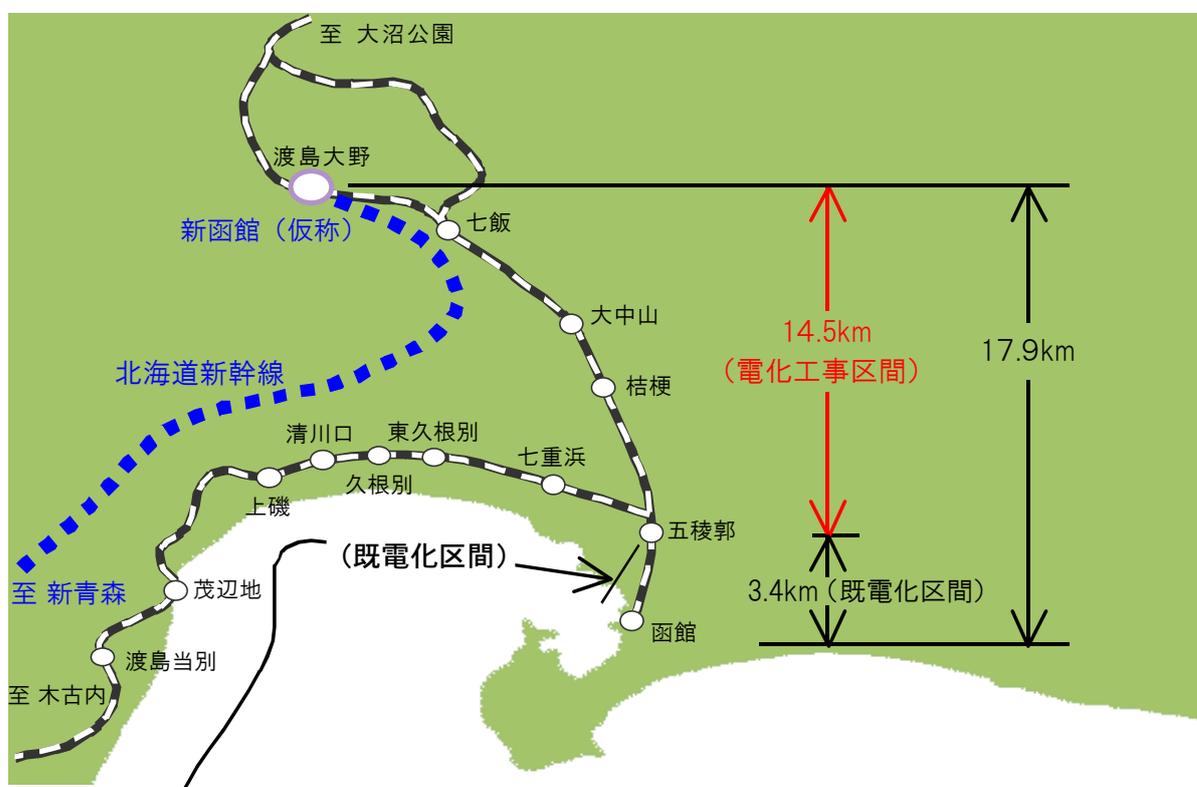
- ・ 主催者挨拶
- ・ 起工宣言
- ・ 鍬入れ

## 函館線五稜郭・渡島大野間電化等について

平成27年度末に予定している北海道新幹線新青森・新函館（仮称）間の開業に向けて、新函館（仮称）駅と函館駅のアクセス輸送について、函館線五稜郭駅と新函館（仮称）となる渡島大野駅の間を電化し、新幹線をご利用されるお客様の利便性・快適性の向上を図ってまいります。

### 1. 函館線五稜郭・渡島大野間の電化工事概要

- ・ 工事区間：函館線五稜郭・渡島大野間 14.5キロメートル
- ・ 電化方式：交流2万ボルト（函館線函館・五稜郭間は交流2万ボルトで既に電化済み）
- ・ 総工事費：約18億円
- ・ 工期：平成25年3月～平成27年度（新幹線開業前）



電化工事区間概要図

## 2. 新函館（仮称）駅から函館駅へのアクセス

- 新函館（仮称）駅の新幹線と在来線の乗り換えについては、新たに在来線駅舎を建設し、新幹線第1ホームと在来線第1ホームをご利用いただく同一平面の乗り継ぎ（別紙参照）を基本として計画してまいります。
- 新たな在来線駅舎では、函館と札幌・苫小牧・室蘭方面を結ぶ特急列車（スーパー北斗及び北斗）を停車させて道央方面への乗り継ぎを行っていただくよう計画してまいります。また、新函館（仮称）駅と函館駅を結ぶ利便性の高いアクセス電車を新たに導入し、函館駅方面への乗り継ぎを行っていただくよう計画してまいります。

### <参考> 在来線駅舎の概要

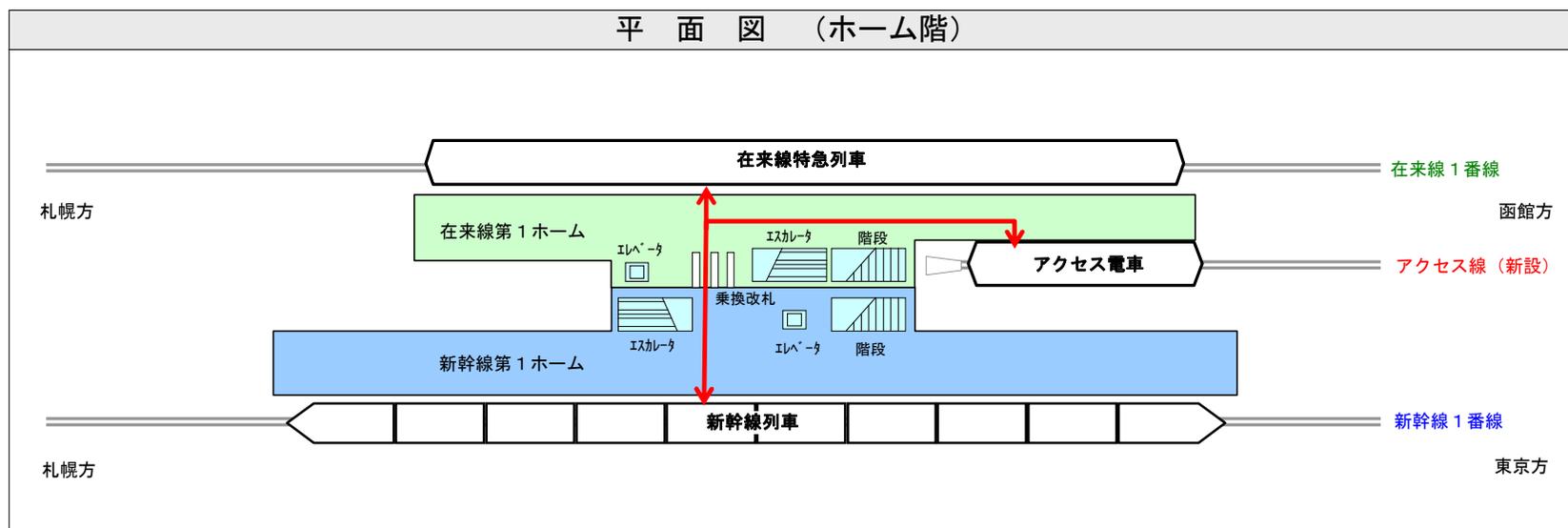
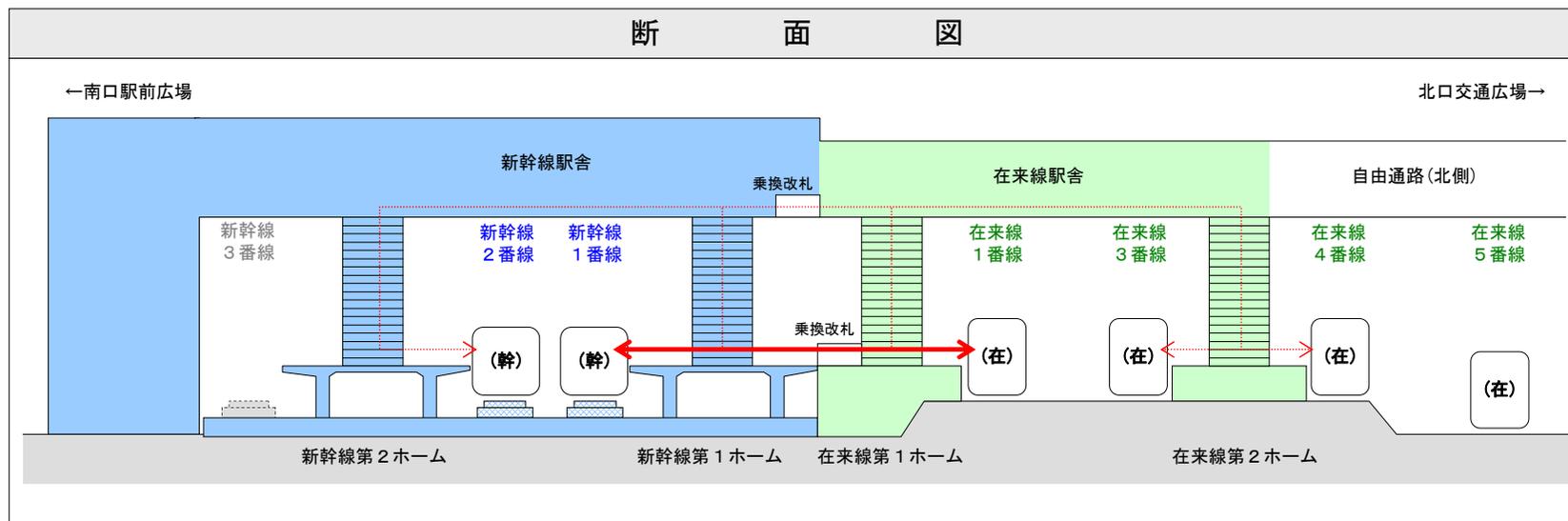
- ・ 建設地：新函館（仮称）駅に併設（北海道北斗市市渡）
- ・ 延床面積：駅本屋・・・約1,100平方メートル
- ・ 主な施設：在来線ホーム（2面〔※〕）、乗換改札、バリアフリー設備（エスカレータ、エレベータ）

※在来線第1ホームは、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備する新幹線第1ホームと同一の高さとなるよう整備いたします。



在来線駅舎の完成予想図

## 新函館（仮称）駅 新幹線と在来線の基本的な乗り継ぎイメージ



注1：新幹線駅舎は独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、自由通路は北斗市により整備されます。なお、新幹線3番線は新幹線札幌開業までに整備されます。  
 注2：在来線の番線名称については、アクセス線を1番線とし、新幹線開業にあわせて既設1番線を2番線に変更する予定です。